

感染症は、世界のどこに進出していても懸念すべきリスクのひとつです。特に、世界的な感染拡大を引き起こす可能性のある新型インフルエンザに対しては、正しい知識に基づいて事前に対策を講じることが求められます。

新型インフルエンザは鳥インフルエンザウイルスがヒトからヒトへ感染するウイルスに変異し、「パンデミック」（世界的な大流行）を引き起こす可能性のある感染症です。新型インフルエンザに対しては、

## 中小企業 海外展開のツボ

まず、世界保健機関（WHO）や日本政府、現地政府などが発信する情報を基に正しい知識を身につけましょう。そのうえで、感染予防策を従業員に徹底し、感染拡大防止策を検討します。

感染予防策としては、手洗い・うがいの励行、消毒液の設置などがあります。感染拡大防止策の例としては、従業員同士の間隔を空けるなど

## 感染症、正しい知識で対策

SOMPOリスクアマネジメント ERM事業部 横山 歩氏  
上席コンサルタント

工場や事務所のレイアウト変更が挙げられます。

また、駐在員やその家族をいつ帰国させるかなど、感染拡大の段階に応じた自社の対応について検討し、計画を立てます。その際、取引先や同業他社の取り組みも参考にするとよいでしょう。

なお、ほかにも注意すべき感染症があります。海外では、デング熱や

ジカ熱、マラリアなど蚊が媒介する感染症や、コレラや赤痢、腸チフスなど水や食べ物から感染する感染症が発生しています。一部の国・地域では、結核や狂犬病なども確認されています。これらの感染症に対しては、可能であればワクチンを接種するとともに、蚊に刺されない、生水を飲まないなど基本的な感染予防策を徹底することが重要です。

### 感染症への対応のポイント

① 感染症に関する正しい知識を身につける

WHOや政府機関の情報を基に、新型インフルエンザなど感染症に関する知識を得る

② 感染予防策と感染拡大防止策を実施する

手洗い・うがいの励行や消毒液の設置など、平時から予防策を徹底するとともに、感染拡大を防止する対策を検討する

③ 感染拡大時の対応について計画を立てる

駐在員とその家族の一時帰国や現地従業員の処遇などについて、感染拡大の段階に応じた計画を立てておく

2017年4月5日  
日経産業新聞